



RI会長 レイ・クリンギンスミス

第2790地区ガバナー

織田 吉郎

第5分区ガバナー補佐

佐野 昭雄

第5分区幹事

鈴木 照夫

第2790地区地区委員

広報・IT委員会

勝浦RC 千葉 正徳

クラブ研修委員会

館山RC 川名 光俊

環境委員会

館山RC 吉田 政紀

R財団寄付金小委員会

鴨川RC 伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会長

関 一憲

幹事

中村 満

クラブ会報委員長

渡邊 ヒロ子

副委員長

渡邊 昌俊

委員

牧野 利美

前田 安彦

関 正夫

斎藤 麻美子

5月13日(金)のプログラム

- 地区協議会報告

本日(5/20)のプログラム

- 5/20(金) 西川佳璋 会員卓話

今後の例会プログラム予定

- 5/24(火) 千倉・鴨川3クラブ
合同例会及び車中臨時理事会
- 5/27(金) 合同例会に振替
- 6/3(金) 会員卓話
- 6/10(金) クラブフォーラム・臨時総会
- 6/17(金) 各委員長1年を省みて
- 6/24(金) 6/29 家族会に変更
- 6/29(水) 家族会

《東急ハーベスト勝浦》

会長挨拶 関一憲会長

先日勝浦沖でのイージス艦と清徳丸の衝突事故の判決がTV放映していました。また、交通事故では毎年6000人位の人の命が失われています。震災などで、亡くなる方もありますし、食糧不足で生きたいのに、生きられない多くの方もいらっしゃいます。



しかしながら、尊い命を自らの意志にて絶ってしまう人も多くいます。とても悲しいことです。良く考えると、私たち一人一人は、とても価値ある存在です。両親が居るから子供が生まれます。子供の幸せを望まない親はいないと思います。私たちの両親にもまた、両親がいます。そのまた親にも両親がいて、というように51代さかのぼると、なんと子供の幸せを祈り、願い、必死に命をつないでくれた、ありがたいご先祖様の数はなんと、2251兆7998億1368万5246人もいるそうです。(ある数学者が計算したのでおそらく正解です)こんなにも多くのご先祖様が、我が子の幸せを望み、命を繋げてくれたからこそ、今我々はこの場に生きているのでしょうか。とてもありがたいことですし、感謝せずにはられません。勝浦RCも先輩方が寄りよい方向にと一生懸命努力していただいたので、今の素晴らしいクラブがあります。より以上を目指し、次年度に繋がたいと思います。今日は次年度のために、時期理事さんが一生懸命発表及び報告をしていただけます。有意義な例会を期待いたします。感謝

幹事報告 中村満幹事

ガバナー事務所より

「ロータリー第2790地区チャリティーパーティー」
開催の案内きています。

ガバナー事務所より義捐金集計と今後の方針について・・・各会員に今日配布してあります



千倉RC様から例会変更のお知らせがきています。

3クラブ合同例会が鴨川にて5月24日に開催されます。

5月27日の例会は24日に振替となります。

参加締切りが15日迄です。まだ回答がない会員は宜しくお願ひします。

臨時理事会が24日のバスの中で開催されますので理事、役員はなるべく参加をお願いします。

臨時総会が6月10日通常例会中に開催されます

ニコニコBOX (中村昇 親睦委員長)

自主申告 渡辺昌俊 君



2012-2013 年度の幹事をとお声がかかり、何とかお受けすると申しあげたものの、本当に私で良いのか？長男の高校で保護者会長職が重なると思われれます。その場合、幹事の務めが十分にできないことも多いのではないかと思います。それでも良いのでしょうか？私自身では結論が出なかつたので、ご相談に乗っていただければと思います。よろしくお願ひ致します。

自主申告 渡辺ヒロ子 君

先日ご案内させていただいた「チャリティーコンサート」ですが、お蔭様で 150～160 名の方々がおこしくださり、義捐金も 42 万円が集まりました。義捐金は当日、日本赤十字の勝浦支部長である山口市長に直接お渡しいたしました。期待以上の来場者の皆さんと義捐金に、大変嬉しく思ったのですが、それ以上に、快く会場を提供くださった漆原さん、お忙しい時間を割いてお友達やご家族も一緒に来てくださった勝浦 RC のみなさんには、本当にありがとうございました。ロータリークラブの皆さんの思いや温かさを感じることができました。心から感謝申し上げます。



自主申告 関正巳 君

5月1日、チャリティーコンサートに行きましたが、とても素晴らしい内容でした。お疲れ様でした。



自主申告 中村昇 君

私も行ったんですが、もう少し義捐金を入れれば良かったな、という気持ちですが、最後に残りましたので、その分をここに一口入れさせていただきます。



地区協議会報告

関正巳 会長エレクト

本日は、先週のバズ・セッションで煮詰めた内容、次年度の活動方針等を各奉仕の担当理事より発表していただきます。”



クラブ奉仕 : 中村昇 次年度担当理事

クラブ奉仕 の担当理事、古川君が欠席ですので、私からそこも含めて... 次年度 R I 会長の言葉を読みますと、クラブ奉仕 は会員増強が主となると思います。それにはまず女性会員を 2%増にする、とあります。勝浦では 5%以上の女性会員がありますが、それでもさらに女性会員を増やしたらいいのではないかと思います。また、若年層(45歳以下)の会員もクラブ会員数の 2%増にする、と書かれてありました。次年度の会員増強の委員長になる村石君が、先週のバズ・セッションの中で、御宿の会員が 1 人もいなくなってしまったことに責任も感じているので、次年度は特に御宿に力を入れたいと申しておりました。



クラブ奉仕 の方針として、楽しい親睦活動と意欲的で有意義なプログラム、そしてその楽しさを会員全員に広報活動を行っていきます。当委員会は、クラブの活性化にとって重要な役割を担うことを自覚し、各委員会のチームワークを大切に、すべての会員が楽しく有意義なクラブライフをおくれるよう努めてまいります。

活動計画といたしましては、親睦が一番大事ですので、親睦活動の展開、充実した会報づくり、さらに卓話の企画など、内容豊かな情報の発信、家族を含めて楽しめる家族例会を計画してまいります。そのためには、親睦とプログラムが一番重要ではないかと思います。今年度は渡辺幸男さんがプログラム委員長を努め、内容的にとっても充実していたと思います。会員増強は大切ですが、同時に地域の方々にロータリーの存在を知っていただくことも重要だと思ひます。今年度はホームページの作成もいたしましたので、オブザーバーなどの例会への体験参加などもはかることが、会員増強につながるのではないかと、思っております。以上です。

職業奉仕：水野敬泰 次年度担当理事

「ロータリーの職業奉仕は、会員個々が自分の職業の質を高めること、道徳心を高揚すること、これを自分の職業に反映させることが基本です。その結果、自分自身の事業に自信と誇りを持ち、事業を継続的に繁栄させることに繋がります。」というのが、ロータリーの基本的な考え方です。



「職業奉仕委員会の任務は、各々の会員の職業奉仕の実績の点検に努める事にあると思われま。また、会員に対して、職業奉仕の考え方の理解を進めることや、個人の自己研鑽を啓蒙したり、あるいは勉強会を開催して、一層の会員の質の向上の一端を担うなどの活動も含まれると思います。」

「ロータリーに入会を許されたのは、職業奉仕の言葉を知らなくても、常日頃から職業奉仕をしていたからこそなので、我々はロータリーの活動の中で、それを確信しさらに社会に広めることこそ、ロータリアンとしての活動なのではないでしょうか？東日本大震災からの復興の時、義捐金の寄付はもちろんひつようでしょうが、それにもまして、日本社会がより健全で公正な計活動を今まで以上に推進することも大事な救援活動になります。いまこそ職業奉仕と感ずるのは私だけではないのでしょうか。」

社会奉仕：牧野利美 次年度担当理事

奉仕の第三部門である社会奉仕は、クラブの所在地域、または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものです。



社会奉仕委員会は、本クラブの会員が、その地域社会にたいする書債務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施するものとする。この委員会の委員長は、本クラブの社会奉仕活動に責任をもち、社会奉仕の諸特定分野について設置される次の委員会の仕事を監督しこれを調整するものとする。新世代育成委員会は、若い人達を直接援助したり、あるいは又、彼らの価値や潜在能力に対する社会の人々の評価を高めるように工夫されて企画をたて、プログラムを作り、実施するものとする。

インタラクティブ委員会は、千葉県立勝浦若潮高等学校インタラクティブ・クラブに対して側面から指導と助成を行い、地域社会への奉仕を通じ、責任感や連帯意識と道徳心の向上を図り、国際理解を深めて、世界的連携において共同活動を行う機会を与えるものとする。

国際奉仕：関正夫 次年度担当理事

当クラブの国際奉仕は、国際奉仕とロータリー財団と米山記念奨学会が担当になりますが、地区のほうではロータリー財団と米山記念奨学会は別の部門に



なるということ、それぞれ別の方が参加されました。今まで国際奉仕の部門は青少年交換委員会と地区のWCS（国際社会奉仕委員会）の2つの委員会がありましたが、次年度からは、WCS委員会が廃止され、それに替わるものとして、国際プロジェクト委員会ができました。WCS廃止はRIからの決定の様です。

「国際社会奉仕プログラムは開始以来、ロータリアンが国際奉仕プロジェクトの協力者探しを行う上で役立てられてきましたが、そのプログラムの名称からロータリー財団の人的補助金プログラムと混同されるケースが目立っていました。WCSプログラムは本年度末で廃止されますが、今後もRIはロータリアンによる国際奉仕プロジェクトを全面的に支援してまいります」WCSは地区として東南アジア方面への支援活動してきたようですが、次年度からは地区ではやらなくなります。各クラブでやることに對して側面から支援していく、という方向になったようです。青少年交換委員会ですが、今回のこと（震災）で、8割～9割の在日交換学生が本国に戻り（戻され）た状況ですが、地区としてはこれまで通り積極的に進めていく方針だそうです。当クラブとしても、交換学生はクラブの活性化のためにも是非とも進めていきたいと思ひます。

出席報告 5 / 13 (金) 出席委員会 (関祐介委員長)

会員	出席	MU	欠席	出席率
40名	25名	8名	7名	82.5%

欠席：浅野玄航・内田秀実・高橋奈緒美・高山裕紹
林重利・吉野裕子・渡辺保